

平成28年度  
京都大学  
特色入試選抜要項《予告》



# 目次

---

京都大学特色入試を始めるにあたって	1
1. 京都大学の基本理念	2
2. 京都大学入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)	3
3. 京都大学特色入試の基本方針	4
4. 各学部が特色入試を通じて求める人物像	5
5. 募集人員・試験実施方式	8
6. 選抜日程	9
7. 出願資格、出願要件、提出書類、 大学入試センター試験利用教科・科目名、選抜方法及び基準	
総合人間学部	10
文学部	11
教育学部	12
法学部	13
経済学部	14
理学部	15
医学部医学科	16
医学部人間健康科学科	17
薬学部薬科学科	18
工学部地球工学科	19
工学部電気電子工学科	20
工学部情報学科	21
工学部工業化学科	22
農学部食料・環境経済学科	23
各種問い合わせ先	24

注：本選抜要項は現時点での予定であり、若干変更する可能性があります。  
正式な「平成28年度京都大学特色入試選抜要項」は平成27年6月頃に、  
出願書類も含めた「平成28年度京都大学特色入試学生募集要項」は平成  
27年7月頃に配布予定です。  
出願にあたっては、必ず募集要項で確認してください。

## 京都大学特色入試を始めるにあたって

大学は社会の各界から、「国際展開を担えるグローバル人材」の養成を要望されています。そのためには、幅広い豊かな教養力・俯瞰力、外国語運用力、優れた専門力を大学において三位一体的に育成する必要があります。その意味で、高等学校と大学との接続・連携を緊密なものとする「高大接続」型の入学者選抜は大変重要です。これは、大学における教養教育、外国語教育並びに専門教育が高校教育の積み上げを前提としていることから明らかであり、研究型大学である本学が重視している「自ら課題を発見し、チャレンジする」という自発的・能動的な学びという点からも重要です。

本学では、このような高等学校における幅広い学びと接続した大学入試方法について検討してきました。高等学校における幅広い学習に裏付けられた総合力と学ぶ力及び高い志を評価し、個々の学部が定めたカリキュラムと教育コースを受けるにふさわしい学力と意欲を備えた者を選抜する「高大接続型京大方式特色入試」を、平成28年度入試より全学部で実施することにいたしました。この時期はちょうど高等学校新学習指導要領下で学んだ高校生等が大学を受験する年になります。

「魅力・実力・活力」ある大学を目指す本学にとって、「特色入試」を通じて、総合的な判断力と優れた専門力を有し、社会の各界で積極的に活動できる人材の育成に一層努める所存です。世界を牽引するグローバルリーダーを目標とする多くの志願者が集まってくれることを期待しています。

平成26年12月



京都大学総長 山極 壽一

# 1

## 京都大学の基本理念

京都大学は、創立以来築いてきた自由の学風を継承し、発展させつつ、多元的な問題の解決に挑戦し、地球社会の調和ある共存に貢献するため、自由と調和を基礎に、ここに基本理念を定める。

### ■ 研究

1. 京都大学は、研究の自由と自主を基礎に、高い倫理性を備えた研究活動により、世界的に卓越した知の創造を行う。
2. 京都大学は、総合大学として、基礎研究と応用研究、文科系と理科系の研究の多様な発展と統合をはかる。

### ■ 教育

3. 京都大学は、多様かつ調和のとれた教育体系のもと、対話を根幹として自学自習を促し、卓越した知の継承と創造的精神の涵養につとめる。
4. 京都大学は、教養が豊かで人間性が高く責任を重んじ、地球社会の調和ある共存に寄与する、優れた研究者と高度の専門能力をもつ人材を育成する。

### ■ 社会との関係

5. 京都大学は、開かれた大学として、日本および地域の社会との連携を強めるとともに、自由と調和に基づく知を社会に伝える。
6. 京都大学は、世界に開かれた大学として、国際交流を深め、地球社会の調和ある共存に貢献する。

### ■ 運営

7. 京都大学は、学問の自由な発展に資するため、教育研究組織の自治を尊重するとともに、全学的な調和をめざす。
8. 京都大学は、環境に配慮し、人権を尊重した運営を行うとともに、社会的な説明責任に応える。

# 2

## 京都大学入学者受入れの方針 (アドミッション・ポリシー)

京都大学は、日本の文化、学術が育まれてきた京都の地に創設された国立の総合大学として、社会の各方面で活躍する人材を数多く養成してきました。創立から1世紀以上を経た21世紀の今日も、建学以来の「自由の学風」と学術の伝統を大切にしながら、教育、研究活動をおこなっています。

京都大学は、教育に関する基本理念として「対話を根幹とした自学自習」を掲げています。京都大学の目指す教育は、学生が教員から高度の知識や技術を習得しつつ、同時に周囲の多くの人々とともに研鑽を積みながら、主体的に学問を深めることができるように教え育てることです。なぜなら、自らの努力で得た知見こそが、次の学術展開につながる大きな力となるからです。このため、京都大学は、学生諸君に、大学に集う教職員、学生、留学生など多くの人々との交流を通じて、自ら学び、自ら幅広く課題を探求し、解決への道を切り拓く能力を養うことを期待するとともに、その努力を強く支援します。このような方針のもと、優れた学知を継承し創造的な精神を養い育てる教育を実践するため、自ら積極的に取り組む主体性をもった人を求めています。

京都大学は、その高度で独創的な研究により世界によく知られています。そうした研究は共通して、多様な世界観・自然観・人間観に基づき、自由な発想から生まれたものであると同時に、学問の基礎を大切にする研究、ないし基礎そのものを極める研究であります。優れた研究は必ず確固たる基礎的学識の上に成り立っています。

京都大学が入学を希望する者に求めるものは、以下に掲げる基礎的な学力です。

1. 高等学校の教育課程の教科・科目の修得により培われる分析力と俯瞰力
2. 高等学校の教育課程の教科・科目で修得した内容を活用する力
3. 外国語運用能力を含むコミュニケーションに関する力

このような基礎的な学力があってはじめて、入学者は、京都大学が理念として掲げる「自学自習」の教育を通じ、自らの自由な発想を生かしたより高度な学びへ進むことが可能となります。

京都大学は、各学部の理念と教育目的に応じて、その必要とするところにしたがって、入学選抜における教科・科目等を定めており、望ましい基礎的な学力を備え、京都大学の学風と理念を理解して、意欲と主体性をもって勉学に励むことのできる人を、国内外から広く受け入れます。

# 3

## 京都大学特色入試の基本方針

本特色入試では、高大接続と個々の学部教育を受ける基礎学力を重視し、

### ①高等学校での学修における行動と成果の判定

### ②個々の学部におけるカリキュラムや教育コースへの適合力の判定

を行い、①と②の判定を併せて、志願者につき高等学校段階までに育成されている学ぶ力及び個々の学部教育を受けるにふさわしい能力並びに志を総合的に評価して選抜します。

①については、高大接続を重んじるという観点から、高等学校での学修における行動や成果を丁寧に評価するため、「調査書」に加え高等学校長等の作成する「学業活動報告書」や「推薦書」を提出していただきます。そこには、出願者の高等学校在学中の顕著な活動歴(例えば、数学オリンピックや国際科学オリンピック出場、各種大会における入賞、教育委員会賞、国際バカロレアディプロマコース・SAT・TOEFL・TOEIC・英検の成績など)を記していただき、志願者が受験科目以外にどういったことを学んできたか、どういった活動を実践してきたかを見ます。さらに、志願者が作成する「学びの設計書」等をもとに、高等学校での活動内容から本学において何を学びたいのか、卒業後どういった仕事に就きたいのかといった、志願者自らの学ぶ意欲や志について書類審査を通じて評価します。

②については、学部が定めたカリキュラムの内容を修得するのに必要とされる基礎学力や個々の学部における教育コースにとって望ましい能力を重んじるという観点から、書類審査に加えて、大学入試センター試験の成績、学部ごとの能力測定考査、論文試験、面接試験、口頭試問等を組み合わせて実施します。

# 4

## 各学部が特色入試を通じて 求める人物像

### ■ 総合人間学部

総合人間学部は、異質な学問分野の接触と相互作用を基盤とした新たな「人間の学」の創出を目指しています。積み上げられてきた既成の学問の成果を生かしながら問題を発見し追究すること、問題の解決に向けて学問間の連携を図り新たな体系を創出することが、本学部の目的です。こうした意味での「総合」、「文理融合」の意義を理解し、これを積極的に進めようとする学生諸君が門をたたくことを望んでいます。

### ■ 文学部

文学部は、基礎学力を十分に備え、これからの文学部での勉学についてプランと展望を持ち、意欲を持って広い意味での勉学に励む人を求めています。

### ■ 教育学部

教育学部は、教育と心・人間・社会にかかわる多様な事象を対象とした諸科学を学ぶことで、教育や心理についての専門的知見、さらに、広い視野と異質なものへの理解、多面的・総合的な思考力と批判的判断力を育成する教育を行っています。

そこで、次のような人物を求めています。

- ・教科の学習及び総合的な学習の時間などにおいて学習を深め、テーマを設定して探究活動を行い、卓越した学力を身につけ、成果をあげた者、あるいは、学校内外の活動で豊かな経験を積み、創造的な熟達を通して、深い洞察を得ている者
- ・人間と社会、教育や心理について関心を持ち、論理的・批判的に思考し、問題を解決する能力とコミュニケーション能力を持つ者
- ・将来、教育や心理にかかわる専門的識見を発揮して、社会に貢献する志を持つ者

### ■ 法学部

法学部は、世界・国家・社会の様々な問題に対する強い関心を持ち、多方面にわたる基礎的な学力を備え、論理的思考力に優れた人材を求めています。

### ■ 経済学部

経済学部は、総合的な学力とともに、長文読解力、問題発見力、論理的思考、柔軟な思考と

創造性、そして高い自学自習の能力を持つ人材を求めています。

## ■ 理学部

理学部は、自由な雰囲気の下で学問的価値を何よりも大切に、自律的学修が推奨される学風のもとで、自然科学の基礎体系を深く習得し、それを創造的に展開する能力と、個々の知識を総合化し、新たな知的価値を創出する能力の養成を教育の目標にしています。そのために、理学科のみの1学科制の下で、緩やかな専門化を経て、研究の最前線へ向う教育を行っています。

理学部が望む学生像は、自由を尊重し、既成の権威や概念を無批判に受け入れない人、自ら考え、新しい知を吸収し創造する姿勢を持つ人、高等学校の教育課程の修得により培われる十分な科学的素養、論理的合理的思考力と語学能力を有し、粘り強く問題解決を試みる人であり、この特色入試では、そのような人の中で、特に、数理科学の分野において極めて優れた才能を持つ人を求めています。

## ■ 医学部医学科

京都大学は創立以来、自由の学風、闊達な対話を重視し、世界トップレベルの先端的学術研究を推進してきました。医学部医学科は、社会が大きく変革している現代においても、京都大学の学問環境で学び、研究することで、世界をリードできる人材、具体的には以下の要件を満たす人材を全国から広く求めます。

1. 医学・生命科学に深い関心を持ち、かつ真摯な姿勢、熱意を持って真理を探究できる将来の世界の医学をリードするような医学研究者としての資質・適性を持つ人材。
2. 1. 以外でも自然科学の少なくとも1領域において傑出した能力を有し、かつ医学研究者としての資質・適性を持つ人材も考慮します。
3. 本学が提供するMD-PhDコースへの進学を希望する人材。

## ■ 医学部人間健康科学科

医学部人間健康科学科は、看護師、保健師、臨床検査技師、理学療法士、作業療法士という国家資格をベースに、国際的視野を兼ね備えた医療専門職のリーダーや、研究者の養成を推進します。そのためには、非常に多面的でバランスの良い思考ができることが求められます。そこで、次のような人材を広く求めています。

- ・学問に対する探究心と人間に対する深い洞察力を持った人
- ・理系だけでなく人文科学系も含めた幅広い教養を指向する人
- ・従来の健康へのアプローチに創造的、批判的に対峙できる人

以上のような資質を持ち合わせた学生が、科学の求める普遍性と、一人一人の患者に対応する倫理性を統合した人間健康科学を追求し、すべての人が平和になれる健康な社会を維持するための課題や問題を抽出して解決していくことを望んでいます。



## ■ 薬学部薬科学科

薬学部薬科学科では、創薬に関係する幅広い分野において、将来、研究者として国際的に活躍することのできる人材を育成しています。

特色入試では、十分な基礎学力を有し、自ら目的を設定し挑戦できる行動力があり、特に創薬に関心と興味を持ち、将来創薬領域で世界をリードできる薬学研究者を目指す人材を求めています。

## ■ 工学部

工学部は、特筆すべき能力、リーダーシップと高い基礎学力を持つ人材を求めています。

## ■ 農学部食料・環境経済学科

農学部食料・環境経済学科は、食料・環境・農業などの分野において、高度な専門知識を持って社会のリーダーとなるべき人材を求めています。

## 5

## 募集人員・試験実施方式

学部・学科・専攻名		募集人員	試験実施方式	
総合人間学部		5名	学力型AO	
文学部		10名	学力型AO	
教育学部		6名	学力型AO	
法学部		20名	後期日程	
経済学部		25名	学力型AO	
理学部		5名	学力型AO	
医学部	医学科	5名	推薦	
	人間健康科学科	看護学専攻	10名	
		理学療法学専攻	3名	学力型AO
		作業療法学専攻	3名	
薬学部	薬科学科	3名	学力型AO	
工学部	地球工学科	3名	推薦	
	電気電子工学科	5名		
	情報学科	2名		
	工業化学科	若干名		
農学部	食料・環境経済学科	3名	学力型AO	

注：法学部を除き、選考の結果によっては合格者数が募集人員に満たない場合がありますが、その欠員分は一般入試(前期日程試験)の募集人員に加えます。

法学部を除き、学部・学科間の併願はできません。

# 6

## 選抜日程

(平成26年12月現在の予定)

学部・学科名		出願期間	第1次選考 結果発表	第2次選考	第2次選考 合格発表
総合人間学部		11/2~6	11/30	12/23	※
文学部		11/2~6	2/3	2/5	※
教育学部		10/5~9	11/6	11/28,29	12/15
法学部		1/25~2/3	2/28	3/12	3/23※
経済学部		11/2~6	2/3	2/5	※
理学部		10/5~9	11/6	11/28,29	12/15
医学部	医学科	11/2~6	11/30	12/22,23	1/13※
	人間健康科学科	10/5~9	10/30	11/14,15	12/15
薬学部	薬科学科	11/2~6	11/30	12/23	1/13
工学部	地球工学科	11/2~6	11/30	12/24,25	1/13
	電気電子工学科		—	—	※
	情報学科		11/30	12/24,25	1/13
	工業化学科		11/30	—	※
農学部	食料・環境経済学科	11/2~6	2/3	2/5	※

注：医学部医学科は、大学入試センター試験を利用しませんので最終合格発表日は1月13日です。

最終合格発表は、法学部及び医学部医学科を除き、2月10日とします。

(※については、第2次選考合格発表と最終合格発表が同じであることを示しています。)

入学手続きは、法学部を除き、2月16日とします。

○ 出願期間 ● 第1次選考結果発表 ● 第2次選考 ● 第2次選考結果発表 ● 最終合格発表  
下欄の数字は日付を表す ● 入学手続き

		10月	11月	12月	1月	2月	3月
総合人間学部			○ 2~6 ● 30	● 23		● 1016	
文学部			○ 2~6			● 3 5 1016	
教育学部		○ 5~9	● 6 ● 28,29	● 15		● 1016	
法学部						○ 25~3 ● 28 ● 12 ● 2325	
経済学部			○ 2~6			● 3 5 1016	
理学部		○ 5~9	● 6 ● 28,29	● 15		● 1016	
医学部	医学科		○ 2~6 ● 30	● 22,23	● 13	● 16	
	人間健康科学科	○ 5~9 ● 30	● 14,15	● 15		● 1016	
薬学部	薬科学科		○ 2~6 ● 30	● 23	● 13	● 1016	
工学部	地球工学科		○ 2~6 ● 30	● 24,25	● 13	● 1016	
	電気電子工学科		○ 2~6			● 1016	
	情報学科		○ 2~6 ● 30	● 24,25	● 13	● 1016	
	工業化学科		○ 2~6 ● 30			● 1016	
農学部	食料・環境経済学科		○ 2~6			● 3 5 1016	

# 7

## 出願資格、出願要件、提出書類、 大学入試センター試験利用教科・科目名、 選抜方法及び基準

### 【総合人間学部】

<b>出願資格</b>	次のいずれかに該当することが必要です。 1. 高等学校又は中等教育学校を平成26年4月から平成28年3月までに卒業又は卒業見込みの者 2. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成26年4月から平成28年3月までに修了又は修了見込みの者								
<b>出願要件</b>	次のすべての要件を満たすこととします。 1. 本学総合人間学部での学びを強く志望し、合格した場合は必ず入学することを確約する者 2. 調査書の全体の評定平均値4.3以上の者 3. 平成28年度大学入試センター試験において、指定した教科・科目を受験する者								
<b>提出書類</b>	1. 調査書 2. 学業活動報告書 3. 学びの設計書								
<b>大学入試センター試験利用教科・科目名</b>	【国語】国語 【地歴・公民】世界史B、日本史B、地理B、「倫理、政治・経済」から1 ※1 【数学】「数Ⅰ・数A」、「数Ⅱ・数B」 【理科】物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から2、又は物理、化学、生物、地学から2 ※2 【外国語】英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1 ※3								
<b>選抜方法及び基準</b>	提出書類、能力測定考査、及び大学入試センター試験の成績を総合して合格者を決定します。 第1次選考は、調査書、学業活動報告書、及び学びの設計書により選考を行い、上位50名を上限として合格者を決定します。 第2次選考は、第1次選考に合格した者に対して、能力測定考査（文系総合問題、理系総合問題）を行い、その成績、及び大学入試センター試験の成績により最終選考を行います。 能力測定考査においては、文系総合問題では広く文化・科学・思想・社会などから出題し、長文の読解力や文章力を検査します。理系総合問題では数Ⅲを含み、数理的思考力や論理的思考力を検査します。能力測定考査の配点は、次のとおりとします。 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>試験の区分</th> <th>文系総合問題</th> <th>理系総合問題</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配点</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>200</td> </tr> </tbody> </table> 大学入試センター試験においては基礎学力を問い、その得点の合計が800点満点中85%以上であることを求めます。	試験の区分	文系総合問題	理系総合問題	合計	配点	100	100	200
試験の区分	文系総合問題	理系総合問題	合計						
配点	100	100	200						

※1 2科目受験者については、第1解答科目の成績を用います。

※2 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2科目を選択した場合、200点満点を100点満点に換算して利用します。

※3 「英語」を利用する場合は、リスニングテストを含みます。「英語」は250点満点（筆記200点満点、リスニング50点満点）を200点満点に換算して利用します。

## 【文学部】

出願資格	次のいずれかに該当することが必要です。 1. 高等学校又は中等教育学校を平成26年4月から平成28年3月までに卒業又は卒業見込みの者 2. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成26年4月から平成28年3月までに修了又は修了見込みの者
出願要件	次のすべての要件を満たすこととします。 1. 本学文学部での学びを強く志望し、合格した場合は必ず入学することを確約する者 2. 平成28年度大学入試センター試験において、指定した教科・科目を受験する者
提出書類	1. 調査書 2. 学業活動報告書 3. 学びの設計書
大学入試センター試験利用教科・科目名	【国語】 国語 【地歴・公民】 世界史B、日本史B、地理B、「倫理、政治・経済」から2 【数学】 「数Ⅰ・数A」、「数Ⅱ・数B」 【理科】 物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から2 ※1 【外国語】 英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1 ※2
選抜方法及び基準	提出書類、大学入試センター試験の成績、論文試験、学びの設計書に関連する論述試験の成績を総合して合格者を決定します。 第1次選考は大学入試センター試験の得点の合計が900点満点中760点以上の者を合格者とします。ただし、該当者が多数にのぼる場合には、成績上位の30名程度を合格者とします。 第2次選考は、第1次選考に合格した者に対して、①「学びの設計書」に関連する論述試験及び提出書類、②論文試験、についてA～Cの3段階評価を行い、①及び②の両方がAの者を合格者とします。

※1 基礎を付した科目から2科目を選択することに代え、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」のうちから2科目を選択することができます。その場合は、200点満点を100点満点に換算して利用します。

※2 「英語」を利用する場合は、リスニングテストを含みます。「英語」は250点満点（筆記200点満点、リスニング50点満点）を200点満点に換算して利用します。

## 【教育学部】

出願資格	<p>次のいずれかに該当することが必要です。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 高等学校又は中等教育学校を平成 26 年 4 月から平成 28 年 3 月までに卒業又は卒業見込みの者</li> <li>2. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成 26 年 4 月から平成 28 年 3 月までに修了又は修了見込みの者</li> </ol>								
出願要件	<p>次のすべての要件を満たすこととします。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 本学教育学部での学びを強く志望し、合格した場合は必ず入学することを確約する者</li> <li>2. 調査書の全体の評定平均値 4.3 以上の者</li> <li>3. 平成 28 年度大学入試センター試験において、指定した教科・科目を受験する者</li> </ol>								
提出書類	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 調査書</li> <li>2. 学びの報告書</li> <li>3. 学びの設計書</li> </ol>								
大学入試センター試験利用教科・科目名	<p>【国語】 国語          【数学】 「数Ⅰ・数A」、「数Ⅱ・数B」          【地歴・公民】 及び【理科】 については、次のどちらかを選択する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界史B、日本史B、地理B、「倫理、政治・経済」から 2 及び 物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から 2 ※1</li> <li>・世界史B、日本史B、地理B、「倫理、政治・経済」から 1 ※2 及び 物理、化学、生物、地学から 2</li> </ul> <p>【外国語】 英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から 1 ※3</p>								
選抜方法及び基準	<p>提出書類、課題及び口頭試問によるパフォーマンス評価の成績、並びに大学入試センター試験の成績を総合して合格者を決定します。なお、パフォーマンス評価とは、知識やスキルを活用・応用・総合する力をみるために、学習の成果物やそれに関わる活動を評価する方法です。</p> <p>第 1 次選考は、調査書、学びの報告書、及び学びの設計書により選考を行います。</p> <p>第 2 次選考は、第 1 次選考に合格した者に対して、課題と口頭試問により選考を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題では、読解力、論理的・批判的思考力、問題解決能力などについて評価します。</li> <li>・口頭試問では、探究力と洞察力、コミュニケーション能力などについて評価します。</li> </ul> <p>第 2 次選考における配点は、次のとおりとします。</p> <table border="1" data-bbox="379 1021 1270 1115"> <thead> <tr> <th>試験の区分</th> <th>課題</th> <th>口頭試問</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配点</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>200</td> </tr> </tbody> </table> <p>最終選考は、第 2 次選考に合格した者に対して、大学入試センター試験の得点の合計が 900 点満点中 80%以上の者を合格者とします。</p>	試験の区分	課題	口頭試問	合計	配点	100	100	200
試験の区分	課題	口頭試問	合計						
配点	100	100	200						

- ※1 基礎を付した科目から 2 科目を選択することに代え、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」のうちから 2 科目を選択することができます。その場合は、200 点満点を 100 点満点に換算して利用します。
- ※2 2 科目受験者については、第 1 解答科目の成績を用います。
- ※3 「英語」を利用する場合は、リスニングテストを含みます。英語は 250 点満点（筆記 200 点満点、リスニング 50 点満点）を 200 点満点に換算して利用します。

## 【法学部】

出願資格	<p>次のいずれかに該当することが必要です。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び平成28年3月卒業見込みの者</li> <li>2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成28年3月修了見込みの者</li> <li>3. 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの（平成28年3月31日までに修了見込みの者を含む。）</li> <li>4. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在学教育施設の当該課程を修了した者及び平成28年3月31日までに修了見込みの者</li> <li>5. 文部科学大臣が指定する専修学校の高等課程を文部科学大臣が定める日以降に修了した者及び平成28年3月31日までに修了見込みの者</li> <li>6. 文部科学大臣の指定した者（昭和23年文部省告示第47号—大学入学に関し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者の認定—）</li> <li>7. 高等学校卒業程度認定試験又は大学入学資格検定（大検）に合格した者及び平成28年3月31日までに合格見込みの者で、平成28年3月31日までに18歳に達するもの</li> <li>8. 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業したと同等以上の学力があると認められた者で、平成28年3月31日までに18歳に達するもの</li> </ol>																						
出願要件	平成28年度大学入試センター試験において、指定した教科・科目を受験した者																						
提出書類	調査書（全体の評定平均値に基づいて、学科・コースごとの志願者の学年における順位を示してください。）																						
大学入試センター試験利用教科・科目名	<p>【国語】国語</p> <p>【地歴・公民】世界史B、日本史B、地理B、「倫理、政治・経済」から2 （世界史B、日本史Bのうち少なくとも1科目を選択すること。）</p> <p>【数学】「数Ⅰ・数A」、「数Ⅱ・数B」</p> <p>【理科】物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から2 ※1</p> <p>【外国語】英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1 ※2</p>																						
選抜方法及び基準	<p>提出書類、大学入試センター試験、及び小論文試験の成績を総合して合格者を決定します。</p> <p>第1次選考は、大学入試センター試験及び調査書の成績により選考を行い、募集人員の10.0倍程度を目安として合格者を決定します。</p> <p>第2次選考は、第1次選考に合格した者に対して、大学入試センター試験及び小論文試験の成績により選考を行います。</p> <p>小論文試験は、日本語と英語の文章を題材に、読解力、論理的思考力、表現力などについて評価します。</p> <p>大学入試センター試験、小論文の配点は、次のとおりとします。（ ）内の数字は満点を表し、合計の900点満点を270点満点に換算して利用します。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>試験の区分</th> <th>国語</th> <th>地歴・公民</th> <th>数学</th> <th>理科</th> <th>外国語</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>センター試験</td> <td>(200)</td> <td>(200)</td> <td>(200)</td> <td>(100)</td> <td>(200)</td> <td>270 (900)</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>試験の区分</th> <th>小論文</th> <th>センター試験</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配点</td> <td>100</td> <td>270</td> <td>370</td> </tr> </tbody> </table>	試験の区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	合計	センター試験	(200)	(200)	(200)	(100)	(200)	270 (900)	試験の区分	小論文	センター試験	合計	配点	100	270	370
試験の区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	合計																	
センター試験	(200)	(200)	(200)	(100)	(200)	270 (900)																	
試験の区分	小論文	センター試験	合計																				
配点	100	270	370																				

※1 基礎を付した科目から2科目を選択することに代え、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」のうちから2科目を選択することができます。その場合は、200点満点を100点満点に換算して利用します。

※2 「英語」を利用する場合は、リスニングテストを含みます。「英語」は250点満点（筆記200点満点、リスニング50点満点）を200点満点に換算して利用します。

## 【経済学部】

出願資格	<p>次のいずれかに該当することが必要です。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び平成28年3月卒業見込みの者</li> <li>2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成28年3月修了見込みの者</li> <li>3. 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの（平成28年3月31日までに修了見込みの者を含む。）</li> <li>4. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在学教育施設の当該課程を修了した者及び平成28年3月31日までに修了見込みの者</li> <li>5. 文部科学大臣が指定する専修学校の高等課程を文部科学大臣が定める日以降に修了した者及び平成28年3月31日までに修了見込みの者</li> <li>6. 文部科学大臣の指定した者（昭和23年文部省告示第47号一大学入学に関し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者の認定一）</li> <li>7. 高等学校卒業程度認定試験又は大学入学資格検定（大検）に合格した者及び平成28年3月31日までに合格見込みの者で、平成28年3月31日までに18歳に達するもの</li> <li>8. 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業したと同等以上の学力があると認められた者で、平成28年3月31日までに18歳に達するもの</li> </ol>																				
出願要件	<p>次のすべての要件を満たすこととします。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 本学経済学部での学びを強く志望し、合格した場合は必ず入学することを確約する者</li> <li>2. 平成28年度大学入試センター試験において、指定した教科・科目を受験する者</li> </ol>																				
提出書類	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 調査書</li> <li>2. 学業活動報告書</li> <li>3. 学びの設計書</li> </ol>																				
大学入試センター試験利用教科・科目名	<p>【国語】 国語          【地歴・公民】 世界史B、日本史B、地理B、「倫理、政治・経済」から2          【数学】 「数Ⅰ・数A」、「数Ⅱ・数B」          【理科】 物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から2 ※1          【外国語】 英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1 ※2</p>																				
選抜方法及び基準	<p>提出書類、大学入試センター試験、及び論文試験の成績を総合して合格者を決定します。</p> <p>第1次選考は、大学入試センター試験の得点（ただし、英語は250点満点を200点満点に換算）の合計が900点満点中630点以上の者のうち上位80名を上限として合格者を決定します。</p> <p>第2次選考は、第1次選考に合格した者に対して、学業活動報告書、学びの設計書、大学入試センター試験、及び論文試験の成績により選考を行います。</p> <p>論文試験では、出題は1問とし、長文読解力、問題発見力、論理的思考、柔軟な思考と創造性などについて評価します。</p> <p>第2次選考におけるセンター試験の配点</p> <table border="1" data-bbox="395 1249 1193 1346"> <thead> <tr> <th>試験の区分</th> <th>国語</th> <th>数学</th> <th>外国語</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配点</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>200</td> <td>400</td> </tr> </tbody> </table> <p>第2次選考の配点は、次のとおりとします。</p> <table border="1" data-bbox="395 1379 1241 1503"> <thead> <tr> <th>試験の区分</th> <th>学業活動報告書 学びの設計書</th> <th>センター試験</th> <th>論文</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配点</td> <td>100</td> <td>400</td> <td>500</td> <td>1000</td> </tr> </tbody> </table>	試験の区分	国語	数学	外国語	合計	配点	100	100	200	400	試験の区分	学業活動報告書 学びの設計書	センター試験	論文	合計	配点	100	400	500	1000
試験の区分	国語	数学	外国語	合計																	
配点	100	100	200	400																	
試験の区分	学業活動報告書 学びの設計書	センター試験	論文	合計																	
配点	100	400	500	1000																	

※1 基礎を付した科目から2科目を選択することに代え、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」のうちから2科目を選択することができます。その場合は、200点満点を100点満点に換算して利用します。

※2 「英語」を利用する場合は、リスニングテストを含みます。「英語」は250点満点（筆記200点満点、リスニング50点満点）を200点満点に換算して利用します。



## 【理学部】

出願資格	次のいずれかに該当することが必要です。 1. 高等学校又は中等教育学校を平成26年4月から平成28年3月までに卒業又は卒業見込みの者 2. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成26年4月から平成28年3月までに修了又は修了見込みの者								
出願要件	次のすべての要件を満たすこととします。 1. 本学理学部での学びを強く志望し、合格した場合は必ず入学することを確約する者 2. 平成28年度大学入試センター試験において、指定した教科・科目を受験する者								
提出書類	1. 調査書 2. 学業活動報告書（学年における順位の記載は不要） 3. 学びの報告書								
大学入試センター試験利用教科・科目名	【国語】 国語 【地歴・公民】 世界史B、日本史B、地理B、「倫理、政治・経済」から1 ※1 【数学】 「数Ⅰ・数A」、「数Ⅱ・数B」 【理科】 物理、化学、生物、地学から2 【外国語】 英語 ※2								
選抜方法及び基準	提出書類、数学に関する能力測定考査、口頭試問、及び大学入試センター試験の成績を総合して合格者を決定します。 第1次選考は、調査書、学業活動報告書、及び学びの報告書により選考を行います。 第2次選考は、第1次選考に合格した者に対して、数学に関する能力測定考査、口頭試問の成績により選考を行います。 数学に関する能力測定考査では、数理解解力、問題解決力、論理的思考力、明解な説明能力などについて評価します。 口頭試問では、意欲、適性などについて評価します。 数学に関する能力測定考査、及び口頭試問の配点は、次のとおりとします。 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>試験の区分</th> <th>数 学</th> <th>口頭試問</th> <th>合 計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配 点</td> <td>60</td> <td>40</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> 最終選考は、第2次選考に合格した者に対して、大学入試センター試験の得点の合計が900点満点中630点以上の者を合格者としてとします。	試験の区分	数 学	口頭試問	合 計	配 点	60	40	100
試験の区分	数 学	口頭試問	合 計						
配 点	60	40	100						

※1 2科目受験者については、第1解答科目の成績を用います。

※2 リスニングテストを含みます。250点満点（筆記200点満点、リスニング50点満点）を200点満点に換算して利用します。

## 【医学部医学科】

出願資格	<p>次のいずれかに該当することが必要です。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 高等学校又は中等教育学校を平成28年3月卒業見込みの者</li> <li>2. 国際科学オリンピック（数学、物理、化学、生物）日本代表で世界大会に出場した者で、高等学校又は中等教育学校を平成29年3月卒業見込みの者</li> <li>3. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成27年4月から平成28年3月までに修了又は修了見込みの者</li> </ol>								
推薦要件	<p>次のすべての要件を満たすこととします。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人格・識見ともに特段に優れており、学校長が責任を持って推薦する者</li> <li>2. 調査書の評定平均値 4.7以上の者</li> <li>3. TOEFL iBTスコア83点以上の者</li> <li>4. 本学医学部医学科での学びを強く志望し、合格した場合は必ず入学することを確約する者</li> </ol>								
推薦人員	<p>各学校長が推薦できる人数は、1名とします。 ただし、国際科学オリンピック（数学、物理、化学、生物）日本代表で世界大会に出場した平成29年3月卒業見込みの者は別枠で1名推薦可能とします。</p>								
提出書類	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 調査書</li> <li>2. 推薦書</li> <li>3. 学びの設計書</li> <li>4. TOEFL iBTの受験者成績書 (Examinee Score Report) の原本（コピー不可）</li> <li>5. 特色事項（各種コンクール、科学オリンピック等）に関する資料 *平成29年3月卒業見込みの者は提出必須</li> </ol>								
選抜方法及び基準	<p>提出書類、小論文試験、及び面接試験の成績を総合して判定します。 第1次選考は、提出書類の内容により選考します。 第2次選考は、第1次選考に合格した者に対して、小論文試験、及び面接試験の成績により選考します。 小論文試験では、論理的思考力、文章構成力などについて評価します。なお、理科（物理、化学、生物のうち2科目）の基礎知識を必要とします。 面接試験では、京都大学が望む医学研究者、医師としての適性、論理的思考力などについて評価します。 なお、小論文試験、及び面接試験の配点は、次のとおりとします。</p> <table border="1" data-bbox="400 1133 1035 1227"> <thead> <tr> <th>試験の区分</th> <th>小論文</th> <th>面接</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配点</td> <td>160</td> <td>240</td> <td>400</td> </tr> </tbody> </table>	試験の区分	小論文	面接	合計	配点	160	240	400
試験の区分	小論文	面接	合計						
配点	160	240	400						
備考	<p>特色入試に合格し、入学したもので本学が提供するMD-PhDコースへ進学するものには奨学金制度を設けております。</p>								

## 【医学部人間健康科学科】

出願資格	次のいずれかに該当することが必要です。 1. 高等学校又は中等教育学校を平成28年3月卒業見込みの者 2. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成27年4月から平成28年3月までに修了又は修了見込みの者																																												
出願要件	次のすべての要件を満たすこととします。 1. 本学医学部人間健康科学科での学びを強く志望し、合格した場合は必ず入学することを確約する者 2. 調査書の全体の評定平均値4.3以上の者 3. 平成28年度大学入試センター試験において、指定した教科・科目を受験する者																																												
提出書類	1. 調査書（高校2年生までの成績を記載） 2. 学業活動報告書 3. 学びの設計書																																												
大学入試センター試験利用教科・科目名	<p><b>看護学専攻</b> 【国語】国語 【地歴・公民】世界史B、日本史B、地理B、「倫理、政治・経済」から1 ※1 【数学】「数Ⅰ・数A」、「数Ⅱ・数B」 【理科】生物（必ず選択すること）、及び物理、化学から1 【外国語】英語 ※2</p> <p><b>理学療法学専攻</b> 【国語】国語 【地歴・公民】世界史B、日本史B、地理B、「倫理、政治・経済」から1 ※1 【数学】「数Ⅰ・数A」、「数Ⅱ・数B」 【理科】物理、化学、生物から2 【外国語】英語 ※2</p> <p><b>作業療法学専攻</b> 【国語】国語 【数学】「数Ⅰ・数A」、「数Ⅱ・数B」 【地歴・公民】世界史B、日本史B、地理B、「倫理、政治・経済」から1又は2 【理科】物理、化学、生物から1又は2 【外国語】英語 ※2</p> <p>合わせて3科目選択 ※1</p>																																												
選抜方法及び基準	提出書類、論文試験、面接試験、大学入試センター試験の成績を総合して判定します。 第1次選考は、調査書、学業活動報告書、及び学びの設計書により選考を行います。 第2次選考は、第1次選考に合格した者に対して、論文試験、及び面接試験の成績により選考を行います。 論文試験では、医療専門職としての問題発見・解決能力などについて評価します。 面接試験では、医療専門職のリーダーとしての適性・コミュニケーション能力などについて評価します。 最終選考は、第2次選考に合格した者に対して、大学入試センター試験の得点の合計が950点満点中760点以上の者を合格者とします。																																												
選抜方法及び基準	<p>大学入試センター試験、論文試験、及び面接試験の配点は、次のとおりとします。</p> <p><b>看護学専攻及び理学療法学専攻</b></p> <table border="1"> <tr> <td>試験の区分</td> <td>国語</td> <td>地歴・公民</td> <td>数 学</td> <td>理 科</td> <td>外国語 (英語)</td> <td>合 計</td> </tr> <tr> <td>センター試験</td> <td>200</td> <td>100</td> <td>200</td> <td>200</td> <td>250</td> <td>950</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td>試験の区分</td> <td>論 文</td> <td>面 接</td> <td>合 計</td> </tr> <tr> <td>配 点</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>200</td> </tr> </table> <p><b>作業療法学専攻</b></p> <table border="1"> <tr> <td>試験の区分</td> <td>国語</td> <td>数 学</td> <td>地歴・公民</td> <td>理 科</td> <td>外国語 (英語)</td> <td>合 計</td> </tr> <tr> <td>センター試験</td> <td>200</td> <td>200</td> <td colspan="2">300</td> <td>250</td> <td>950</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td>試験の区分</td> <td>論 文</td> <td>面 接</td> <td>合 計</td> </tr> <tr> <td>配 点</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>200</td> </tr> </table>	試験の区分	国語	地歴・公民	数 学	理 科	外国語 (英語)	合 計	センター試験	200	100	200	200	250	950	試験の区分	論 文	面 接	合 計	配 点	100	100	200	試験の区分	国語	数 学	地歴・公民	理 科	外国語 (英語)	合 計	センター試験	200	200	300		250	950	試験の区分	論 文	面 接	合 計	配 点	100	100	200
試験の区分	国語	地歴・公民	数 学	理 科	外国語 (英語)	合 計																																							
センター試験	200	100	200	200	250	950																																							
試験の区分	論 文	面 接	合 計																																										
配 点	100	100	200																																										
試験の区分	国語	数 学	地歴・公民	理 科	外国語 (英語)	合 計																																							
センター試験	200	200	300		250	950																																							
試験の区分	論 文	面 接	合 計																																										
配 点	100	100	200																																										

※1 2科目受験者については、第1解答科目の成績を用います。

※2 リスニングテストを含み、250点満点（筆記200点満点、リスニング50点満点）とします。リスニング免除者は筆記200点満点を250点満点に換算して利用します。

## 【薬学部薬科学科】

出願資格	次のいずれかに該当することが必要です。 1. 高等学校又は中等教育学校を平成28年3月卒業見込みの者 2. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成27年4月から平成28年3月までに修了又は修了見込みの者								
出願要件	次のすべての要件を満たすこととします。 1. 本学薬学部薬科学科での学びを強く志望し、合格した場合は必ず入学することを確約する者 2. 調査書の全体の評定平均値4.3以上の者 3. TOEFL-iBTスコア75点以上の者 4. 平成28年度大学入試センター試験において、指定した教科・科目を受験する者								
提出書類	1. 調査書 2. 学業活動報告書 3. 学びの設計書 4. TOEFL-iBTの受験者成績書 (Examinee Score Report) の原本 (コピー不可)								
大学入試センター試験利用教科・科目名	【国語】 国語 【地歴・公民】 世界史B、日本史B、地理B、「倫理・政治・経済」から1 ※1 【数学】 「数Ⅰ・数A」、「数Ⅱ・数B」 【理科】 物理、化学、生物から2 【外国語】 英語 ※2								
選抜方法及び基準	提出書類、論文試験、面接試験、及び大学入試センター試験の成績を総合して合格者を決定します。 第1次選考は、調査書、学業活動報告書、学びの設計書、及びTOEFL-iBTの成績により選考を行います。 第2次選考は、第1次選考に合格した者に対して、論文試験、及び面接試験の成績により選考を行います。 論文試験は、化学（物理や生物との境界領域を含む）に関する英語の文章を読んで日本語で論述する形式です。英文について内容を正確に読み取り、分析した上で論理的に考察する能力や新たに得た知識を活用して問題を解決する能力などについて評価します。 面接試験は、薬学に対する意欲、目的意識、視野の広さ、適性などについて評価します。 論文試験、及び面接試験の配点は、次のとおりとします。								
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>試験の区分</th> <th>論文</th> <th>面接</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配点</td> <td style="text-align: center;">200</td> <td style="text-align: center;">200</td> <td style="text-align: center;">400</td> </tr> </tbody> </table>		試験の区分	論文	面接	合計	配点	200	200	400
試験の区分	論文	面接	合計						
配点	200	200	400						
最終選考は、第2次選考に合格した者に対して、大学入試センター試験の得点の合計が900点満点中740点以上の者を合格者としてとします。									

※1 2科目受験者については、第1解答科目の成績を用います。

※2 リスニングテストを含みます。250点満点（筆記200点満点、リスニング50点満点）を200点満点に換算して利用します。

## 【工学部地球工学科】

出願資格	次のいずれかに該当することが必要です。 1. 高等学校又は中等教育学校を平成28年3月卒業見込みの者 2. 高等専門学校第3年次を平成28年3月修了見込みの者 3. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成27年4月から平成28年3月までに修了又は修了見込みの者								
推薦要件	次のすべての要件を満たすこととします。 1. 人格・識見ともに特段に優れている者 2. 特筆すべき能力、リーダーシップと高い基礎学力を有する者 3. 国際的な科学競技会（国際数学オリンピック、国際物理オリンピック、国際化学オリンピック、国際生物学オリンピック、国際地学オリンピック、国際情報オリンピックなど）に出場した者、又は国内大会における成績優秀者 4. 平成28年度大学入試センター試験において、指定した教科・科目を受験する者 5. 本学工学部地球工学科での学びを強く志望し、合格した場合は必ず入学することを確約する者								
推薦人員	各学校長が推薦できる人数は、学科で1名とします。								
提出書類	1. 調査書 2. 推薦書 3. 学びの設計書 4. 顕著な活動実績の概要								
大学入試センター試験利用教科・科目名	【国語】 国語 【地歴・公民】 世界史B、日本史B、地理B、「倫理、政治・経済」から1 ※1 【数学】 「数Ⅰ・数A」、「数Ⅱ・数B」 【理科】 物理（必ず選択すること）、及び化学、生物から1 【外国語】 英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1 ※2								
選抜方法及び基準	提出書類、口頭試問、面接試験、及び大学入試センター試験の成績を総合して合格者を決定します。 第1次選考は、調査書、推薦書、学びの設計書、及び顕著な活動実績の概要により選考を行います。 第2次選考は、第1次選考に合格した者に対して、口頭試問及び面接試験により選考を行います。 口頭試問では、基礎学力と特筆すべき能力などについて評価します。 面接試験では、人格及び識見などについて評価します。 口頭試問、及び面接試験の配点は、次のとおりとします。 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>試験の区分</th> <th>口頭試問</th> <th>面接</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配点</td> <td>500</td> <td>500</td> <td>1000</td> </tr> </tbody> </table> 最終選考は、提出書類、口頭試問、面接試験、及び大学入試センター試験の得点を総合して合格者を決定します。大学センター試験においては、その得点の合計が900点満点中80%以上であることが必要です。	試験の区分	口頭試問	面接	合計	配点	500	500	1000
試験の区分	口頭試問	面接	合計						
配点	500	500	1000						

※1 2科目受験者については、第1解答科目の成績を用います。

※2 「英語」を利用する場合は、リスニングテストを含みます。「英語」は250点満点（筆記200点満点、リスニング50点満点）を200点満点に換算して利用します。

## 【工学部電気電子工学科】

出願資格	次のいずれかに該当することが必要です。 1. 高等学校又は中等教育学校を平成28年3月卒業見込みの者 2. 高等専門学校第3年次を平成28年3月修了見込みの者 3. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成27年4月から平成28年3月までに修了又は修了見込みの者
推薦要件	次のすべての要件を満たすこととします。 1. 人格・識見ともに特段に優れている者 2. 特筆すべき能力、リーダーシップと高い基礎学力を有する者 3. 授業科目の一環として実施した課題研究や科学に関する課外活動において顕著な実績をあげた者 4. 平成28年度大学入試センター試験において、指定した教科・科目を受験する者 5. 本学工学部電気電子工学科での学びを強く志望し、合格した場合は必ず入学することを確約する者
推薦人員	各学校長が推薦できる人数は、学科で1名とします。
提出書類	1. 調査書 2. 推薦書 3. 学びの設計書 4. 顕著な活動実績の概要
大学入試センター試験利用教科・科目名	【国語】 国語 【地歴・公民】 世界史B、日本史B、地理B、「倫理、政治・経済」から1 ※1 【数学】 「数Ⅰ・数A」、「数Ⅱ・数B」 【理科】 物理（必ず選択すること）、及び化学、生物から1 【外国語】 英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1 ※2
選抜方法及び基準	提出書類、及び大学入試センター試験の成績を総合して合格者を決定します。 提出された書類の審査に重点を置きます。提出書類をA・B・C・Dの4段階で評価し、A評価の者の内、大学入試センター試験の合計得点が900点満点中80%を越えた者を合格者とします。

※1 2科目受験者については、第1解答科目の成績を用います。

※2 「英語」を利用する場合は、リスニングテストを含みます。「英語」は250点満点（筆記200点満点、リスニング50点満点）を200点満点に換算して利用します。

## 【工学部情報学科】

出願資格	次のいずれかに該当することが必要です。 1. 高等学校又は中等教育学校を平成28年3月卒業見込みの者 2. 高等専門学校第3年次を平成28年3月修了見込みの者 3. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成27年4月から平成28年3月までに修了又は修了見込みの者																				
推薦要件	次のすべての要件を満たすこととします。 1. 人格・識見ともに特段に優れている者 2. 特筆すべき能力、リーダーシップと高い基礎学力を有する者 3. 国際情報オリンピック、国際数学オリンピック、国際物理オリンピックのいずれかにおいて高等学校在学中に日本代表選手候補となった者※ ※ 日本情報オリンピック本選において合格し（Aランク）、春合宿に参加した者 日本数学オリンピック本選においてAAランクとして選ばれ、春合宿に参加した者 全国物理コンテスト「物理チャレンジ」においてチャレンジ・ファイナルに参加した者 4. 平成28年度大学入試センター試験において、指定した教科・科目を受験する者 5. 本学工学部情報学科での学びを強く志望し、合格した場合は必ず入学することを確約する者																				
推薦人員	各学校長が推薦できる人数は、学科で1名とします。																				
提出書類	1. 調査書 2. 推薦書 3. 学びの設計書 4. 顕著な活動実績の概要																				
大学入試センター試験利用教科・科目名	【国語】 国語 【地歴・公民】 世界史B、日本史B、地理B、「倫理、政治・経済」から1 ※1 【数学】 「数Ⅰ・数A」、「数Ⅱ・数B」 【理科】 物理（必ず選択すること）、及び化学、生物から1 【外国語】 英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1 ※2																				
選抜方法及び基準	提出書類、口頭試問、及び大学入試センター試験の成績を総合して合格者を決定します。 第1次選考は、調査書、推薦書、学びの設計書、及び顕著な活動実績の概要により選考を行います。 第2次選考は、第1次選考に合格した者に対して口頭試問により選考を行います。 口頭試問では、提出書類の記載事項の確認、高等学校での学修の確認、科学オリンピック出場科目について高等学校の発展的内容に基づいた試問、英語による自己紹介などにより評価します。 口頭試問の配点は、次のとおりとします。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td>試験の区分</td> <td>口頭試問</td> <td>合計</td> </tr> <tr> <td>配点</td> <td>200</td> <td>200</td> </tr> </table> <p>大学入試センター試験の成績は下表の点数に換算し、第2次選考に合格した者のうち得点の合計が1000点満点中850点以上の者を合格者とします。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td>試験の区分</td> <td>国語</td> <td>地歴・公民</td> <td>数学</td> <td>理科</td> <td>外国語</td> <td>合計</td> </tr> <tr> <td>センター試験</td> <td>150</td> <td>100</td> <td>250</td> <td>250</td> <td>250</td> <td>1000</td> </tr> </table>	試験の区分	口頭試問	合計	配点	200	200	試験の区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	合計	センター試験	150	100	250	250	250	1000
試験の区分	口頭試問	合計																			
配点	200	200																			
試験の区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	合計															
センター試験	150	100	250	250	250	1000															

※1 2科目受験者については、第1解答科目の成績を用います。

※2 「英語」を利用する場合は、リスニングテストを含みます。「英語」は250点満点（筆記200点満点、リスニング50点満点）として利用します。

## 【工学部工業化学科】

出願資格	次のいずれかに該当することが必要です。 1. 高等学校又は中等教育学校を平成28年3月卒業見込みの者 2. 高等専門学校第3年次を平成28年3月修了見込みの者 3. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成27年4月から平成28年3月までに修了又は修了見込みの者
推薦要件	次のすべての要件を満たすこととします。 1. 人格・識見ともに特段に優れている者 2. 特筆すべき能力、リーダーシップと高い基礎学力を有する者 3. 国際化学オリンピック、国際数学オリンピック、国際物理オリンピック、国際生物学オリンピックのいずれかで銅メダル以上の成績を収めている者 4. 平成28年度大学入試センター試験において、指定した教科・科目を受験する者 5. 本学工学部工業化学科での学びを強く志望し、合格した場合は必ず入学することを確約する者
推薦人員	各学校長が推薦できる人数は、学科で1名とします。
提出書類	1. 調査書 2. 推薦書 3. 学びの設計書 4. 顕著な活動実績の概要
大学入試センター試験利用教科・科目名	【国語】 国語 【地歴・公民】 世界史B、日本史B、地理B、「倫理、政治・経済」から1 ※1 【数学】 「数Ⅰ・数A」、「数Ⅱ・数B」 【理科】 物理（必ず選択すること）、及び化学、生物から1 【外国語】 英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1 ※2
選抜方法及び基準	提出書類、及び大学入試センター試験の成績を総合して合格者を決定します。 第1次選考は、調査書、推薦書、学びの設計書、及び顕著な活動実績の概要に記載された内容により選考を行います。 最終選考は、第1次選考に合格した者に対して、大学入試センター試験の指定した教科・科目で80%以上の得点がある者を合格者とします。ただし、1科目でも80%に達しない科目がある場合は、不合格にすることがあります。

※1 2科目受験者については、第1解答科目の成績を用います。

※2 「英語」を利用する場合は、リスニングテストを含みます。「英語」は250点満点（筆記200点満点、リスニング50点満点）を200点満点に換算して利用します。



## 【農学部食料・環境経済学科】

出願資格	次のいずれかに該当することが必要です。 1. 高等学校又は中等教育学校を平成24年4月から平成28年3月までに卒業又は卒業見込みの者 2. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成24年4月から平成28年3月までに修了又は修了見込みの者						
出願要件	次のすべての要件を満たすこととします。 1. 本学農学部食料・環境経済学科での学びを強く志望し、合格した場合は必ず入学することを確約する者 2. 平成28年度大学入試センター試験において、指定した教科・科目を受験する者						
提出書類	1. 調査書 2. 学業活動報告書 3. 学びの設計書						
大学入試センター試験利用教科・科目名	【国語】 国語 【地歴・公民】 世界史B、日本史B、地理B、「倫理、政治・経済」から1 ※1 【数学】 「数Ⅰ・数A」、「数Ⅱ・数B」 【理科】 物理、化学、生物、地学から2 【外国語】 英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1 ※2						
選抜方法及び基準	提出書類、大学入試センター試験、及び小論文試験の成績を総合して合格者を決定します。 第1次選考は、大学入試センター試験の得点の合計が900点満点中720点以上の者の中から、提出書類の内容、及び大学入試センター試験の成績により選考を行います。 第2次選考は、第1次選考に合格した者に対して、小論文試験の成績により選考を行います。 小論文試験は、英語の文章を読んで日本語で論述する形式です。長文の英文について内容を正確に読み取り分析した上で、論理的に自分の意見を論述する能力などについて評価します。 小論文試験の配点は、次のとおりとします。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 30%;">試験の区分</td> <td style="width: 35%;">小論文</td> <td style="width: 35%;">合計</td> </tr> <tr> <td>配点</td> <td>200</td> <td>200</td> </tr> </table> (英文課題を2つ、それぞれ100点)	試験の区分	小論文	合計	配点	200	200
試験の区分	小論文	合計					
配点	200	200					

※1 2科目受験者については、第1解答科目の成績を用います。

※2 「英語」を利用する場合は、リスニングテストを含みます。「英語」は250点満点（筆記200点満点、リスニング50点満点）を200点満点に換算して利用します。

## ■ 京都大学特色入試に関する問い合わせ先

tokushoku-nyushi@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

メールにてお問い合わせください。お問い合わせに対して個別に回答できませんが、本学ホームページの特色入試専用ページに「よくあるご質問」としてまとめて回答いたします。

## ■ 京都大学特色入試専用ページURL

<http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/admissions/tokusyoku/>

## ■ 学部・学科に関する問い合わせ先

学部	担当掛	電話番号	住所
総合人間学部	教務掛	075-753-7875	〒606-8501 京都市左京区吉田二本松町
文学部	第一教務掛	075-753-2709	〒606-8501 京都市左京区吉田本町
教育学部	教務掛	075-753-3010	
法学部	教務掛	075-753-3107	
経済学部	教務掛	075-753-3406	
理学部	学部教務掛	075-753-3637	〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
医学部医学科	学部教務掛	075-753-4325	〒606-8501 京都市左京区吉田近衛町
医学部人間健康科学科	教務掛	075-751-3906	〒606-8507 京都市左京区聖護院川原町53
薬学部	教務掛	075-753-4514	〒606-8501 京都市左京区吉田下阿達町
工学部	教務掛	075-753-5039	〒606-8501 京都市左京区吉田本町
農学部	学部教務掛	075-753-6012	〒606-8502 京都市左京区北白川追分町

## ■ 入学試験に関する問い合わせ先

担当部課	電話番号	住所	URL
学務部入試企画課	075-753-2521	〒606-8501 京都市左京区吉田本町	<a href="http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/admissions/">http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/admissions/</a>

発行 平成26年12月

**京都大学** 学務部入試企画課

〒606-8501 京都市左京区吉田本町 TEL:075-753-2521~2524

京都大学ホームページ

<http://www.kyoto-u.ac.jp/>

